

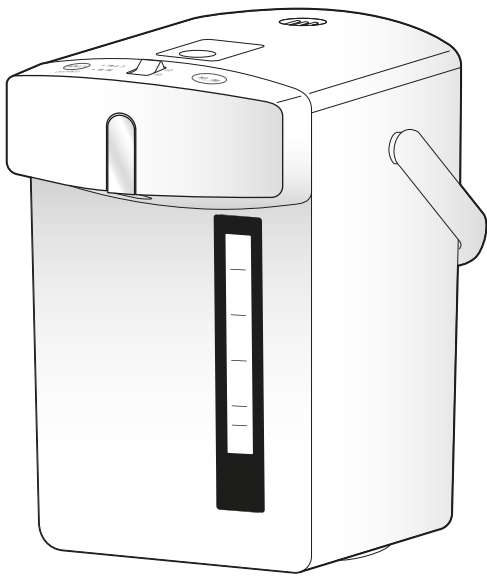
ジャーポット IMHD-222 IMHD-230

取扱説明書(WEB)

ジャーポット

[室内・家庭用]

型番:IMHD-222/IMHD-230



このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「[安全上の注意 P5](#)」を必ずお読みください。
- WEB マニュアルの使いかたは、「[WEB マニュアルの使いかた P2](#)」をご確認ください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

WEB マニュアルの使いかた

ここでは「WEB マニュアル」の使いかたを案内します。

当サイトは下記のブラウザでの使用を推奨しています。
Microsoft Edge ブラウザ(最新版)、Google Chrome ブラウザ(最新版)

◆WEB マニュアルについて



① メニュー/検索タブ

選択すると、メニュー一覧が表示されます。検索タブと切り替えて使用します。

② メニューリスト

メニュー一覧を表示させます。

③ 検索タブ

選択すると、目的の情報を検索できるようになります。メニュータブと切り替えて使用します。

④ 製品名、型番

お問い合わせ時には、製品名と型番をご連絡お願いいたします。

⑤ ページ内リンク

選択すると、ページ内の該当情報が表示されます。

⑥ 関連ページリンク

選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

◆ 検索について



⑦ フリーワード検索

キーワードを入力することで、目的の情報を検索することができます。

⑧ 検索リスト

検索した結果が表示されます。選択すると、WEB マニュアル内の該当ページが表示されます。

- ・ デザインおよび仕様は予告なく変更することがあります。

もくじ

ご使用の前に	5
安全上の注意.....	5
使用上の注意.....	10
確認と準備	11
各部の名称.....	11
使いかた	16
基本手順.....	16
再沸とう(カルキ抜き).....	23
お手入れ	24
本体・庫内.....	24
クエン酸洗浄.....	26
保管のしかた.....	29
お困りのときは	30
故障かな?と思ったら.....	30
その他の情報	33
別売品.....	33
廃棄について.....	33
仕様.....	34
保証とアフターサービス.....	35
お問い合わせ.....	36

ご使用前に

安全上の注意




最初に、この「安全上の注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。


人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

→ [警告 P5](#)

→ [注意 P8](#)




図記号の意味

	注意を促す記号です。		禁止を示す記号です。		必ず行うことを示す記号です。
---	------------	---	------------	---	----------------


	警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
---	--

感電・けが・やけどに注意

乳幼児のいる家庭では特に注意してください。

 接触禁止	<ul style="list-style-type: none">子どもや取り扱いに不慣れな方に使わせたり、幼児に触れさせたりしない 感電・けが・やけどの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none">ふたはカチツとなるまで、確実に閉める お湯がふきこぼれて、感電・けが・やけどの原因になります。お湯を捨てるときは、ふたを外す 手をはさんだり、手にお湯がかかってやけどします。
	<ul style="list-style-type: none">本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しない お湯がこぼれて、けが・やけどの原因になります。ふたは勢いよく閉めない お湯が飛び散ってやけどの原因になります。ふたを持って持ち上げない 落下して、けが・やけどの原因になります。

電源プラグ・電源コードは正しく使う

	<ul style="list-style-type: none">電源プラグのほこりは定期的に取り除く ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む ショートによる火災・感電の原因になります。
---	--

 <p>プラグを抜く</p>	<ul style="list-style-type: none"> • お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く感電やけがの原因になります。
 <p>ぬれ手禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> • ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない感電・けが・やけどの原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> • 電源コードを束ねて通電しない 過熱して火災・やけどの原因になります。 電源コードは、必ずのばして使用してください。 • 交流 100V 以外では使わない 火災・感電の原因になります。 • 電源コードを傷付けない • 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない 傷付ける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。 電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。 • 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない ショートによる火災・感電の原因になります。 電源コードが破損したときは、修理専用コール P36 (☎ 電話をかける)へお問い合わせください。 • コンセントや延長コードなどの定格を超える使いかたをしない 火災の原因になります。
 <p>分解禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 分解・修理・改造をしない 火災・感電・けがの原因になります。 修理については、お買い上げの販売店または修理専用コール P36 (☎ 電話をかける)にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> • 水以外のものを入れない お茶の葉・牛乳・酒・備長炭・ティーバッグ・レトルト食品などを入れると、沸きあがるときにふき出して、やけどの原因になります。 • 満水目盛(ここまで)以上に水を入れない お湯がふきこぼれて、感電・けが・やけどの原因になります。 • 氷を入れて保冷用に使わない 結露が生じ、感電の原因になります。 • 直火(ガス台など)や電磁調理器(IH クッキングヒーターなど)、電気ヒーターなどの上に載せない 火災の原因になります。また、電磁調理器の上で使用すると、誤動作や故障の原因になります。

- ・ 本体が転倒しそうな不安定な場所に置かない
ロックにしても、傾けたり倒したりすると、お湯が流れ出るおそれがあり、火災・けが・やけどの原因になります。
- ・ 電源コード・電源プラグに蒸気を当てない
火災・感電の原因になります。



- ・ 異常・故障時には直ちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く
発煙・火災・感電のおそれがあります。

〔異常の例〕

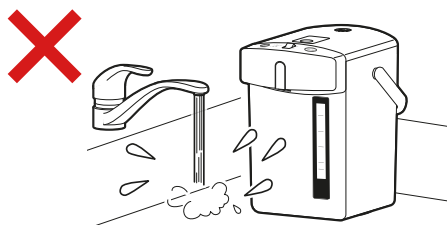


- 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 触れるとピリピリ電気を感じる
- ▶ 使用を中止し、お買い上げの販売店または[アイリスコール P36](#) (☎ [電話をかける](#))
へお問い合わせください。

- ・ 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない
- ・ 本体を水につけたり、本体に水をかけない
火災・感電の原因になります。
- ・ 流し台で蛇口から直接水を入れない
内部に水が入り、火災・感電の原因になります。



水ぬれ禁止



- ・ 注ぎ口や蒸気口に手を触れたり、顔を近づけたりしない
やけどの原因になります。
特に小さなお子様や乳幼児には触らせないように注意してください。
- ・ 注ぎ口や蒸気口をふきんなどでふさがない
過熱・感電・やけどの原因になります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、財産の損害が発生する内容を示しています。



- ・ マグネットプラグに金属をつけない
ショート・感電の原因になります。
- ・ 付属の電源コード以外は使わない
- ・ 付属の電源コードを他の機器に使用しない
火災の原因になります。





プラグを抜く

- ・ 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- ・ 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。



- ・ 取扱説明書に記載した以外の使いかたをしない
火災・感電・けが・やけどの原因になります。
- ・ 沸とう中は給湯しない
- ・ 給湯中は本体を回さない
- ・ 沸とう中はふたを開けない
- ・ ふたを開けるときは、蒸気やふたの内側、内容器に触れない
お湯が飛び散り、やけどの原因になります。
- ・ 壁や家具の近くで使わない
蒸気や熱で壁や家具を傷め、変形・変色の原因になります。
- ・ 熱に弱いテーブルクロスや敷物などの上で使わない
設置場所が焦げたり、火災の原因になります。
- ・ 業務など家庭用以外で使わない
本製品は家庭用として設計されています。
業務など家庭用以外に使用すると、火災などの原因になります。
- ・ 本体を逆さにして置かない
故障の原因になります。
- ・ 水を入れずに電源コードを接続しない
空だきになって、火災や誤動作の原因になります。
- ・ 持ち運ぶときは、ハンドルを持って振り回さない

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 持ち運ぶときはふた開閉レバーに触れない ・ 沸とう中、沸とう直後は持ち運ばない 事故ややけどの原因になります。
 <p>接触禁止</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用中や使用後しばらくは高温部に触れない 高温部に触れてやけどするおそれがあります。 お手入れは十分に冷めてから行ってください。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用中は、ハンドルを後ろに倒す やけどの原因になります。 ・ 持ち運ぶときは、ハンドルを持つ 他の部分を持つと、落下ややけどの原因になります。

使用上の注意

- 内容器のフッ素コーティングは、使用するにともない消耗し、はがれることがあります。人体には無害です。
- 内容器がさびが付いたように変色したり、お湯の中に白い浮遊物が見られることがあります。これらは、水に含まれるミネラル分が析出したもので、コーティングのはがれではありません。人体には無害ですが、汚れがこびりつかないように、こまめにお手入れしてください。
- 次のような場所では使用しないでください。
機器の変形・故障の原因になります。
 - 火気の近く
 - 直射日光が当たる場所
 - 振動する場所(冷蔵庫の上など)
 - 熱を発生する機器の上
- 内容器の破損・コーティングのはがれを防ぐために、以下のことを守ってください。
 - 空だきしない
 - 酢やアルカリ性のものを入れない
 - お手入れに、スポンジ以外のかたいたわし、金属製の道具などを使用しない
 - 食器などかたいものを入れない
 - 食器洗い乾燥機に入れない
- ラジオやテレビに近づけないでください。
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。
- 凍結しそうなときは、水を捨てる
破損・故障の原因になります。
- 空だき防止機能
空だきを検知した場合、加熱を停止します。沸とうランプは消灯し、保温ランプが点灯します。

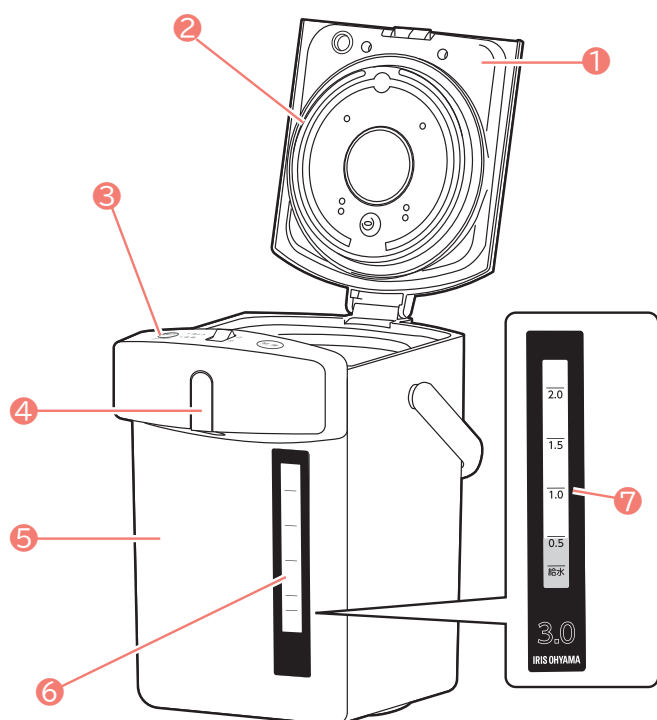
確認と準備

各部の名称

説明は、下記のリンクからご確認ください。

- ・[前面 P11](#)
- ・[背面 P12](#)
- ・[内部 P13](#)
- ・[付属品 P14](#)
- ・[操作パネル P15](#)

— 前面



① ふた

② ふたパッキン

ふたパッキンは取り外せません。

③ 操作パネル

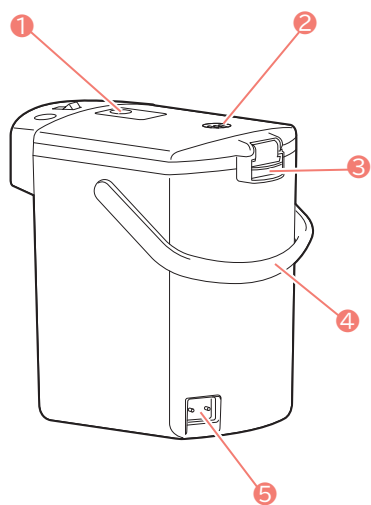
④ 注ぎ口

⑤ 本体

⑥ 水位窓

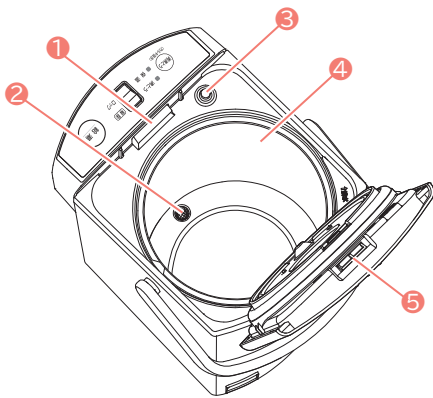
⑦ 給水目盛

—背面



- ① ふた開閉レバー
- ② 蒸気口
- ③ ふた取り外しボタン
- ④ ハンドル
- ⑤ マグネットプラグ差し込み口

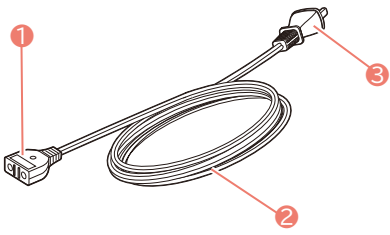
—内部



- ① ふた固定フック
- ② メッシュフィルター
- ③ 温度センサー
- ④ 内容器
- ⑤ ふた固定つめ

—付属品

電源コード

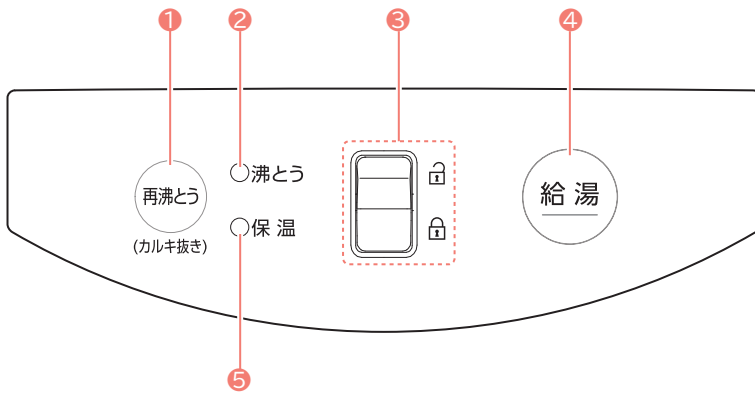


① マグネットプラグ

② 電源コード

③ 電源プラグ

— 操作パネル



① 再沸とう(カルキ抜き)ボタン


ボタンを押すと、沸とうランプが点灯し、沸とうするまで湯沸かしします。(→[再沸騰\(カルキ抜き\) P23](#))

② 沸とうランプ

湯沸かし中に点灯します。

給水して湯温が下がったときも、湯沸かしが始まり、沸とうするまで点灯します。

③ ロックスイッチ

スイッチをロック解除  にすると、給湯することができます。(→[お湯を注ぐ P19](#))

スイッチをロック  にすると、給湯ボタンを押しても給湯しません。

④ 給湯ボタン

ロック解除して給湯ボタンを押すと、給湯できます。

お湯は、ボタンを押している間だけ出ます。(→[お湯を注ぐ P19](#))

⑤ 保温ランプ

沸とうが終了して保温が始まると点灯します。

使いかた

基本手順

各説明は、下記のリンクをクリックしてください。

→[お湯を沸かす P16](#)

→[お湯を注ぐ P19](#)

→[お湯が減ってきたら P20](#)

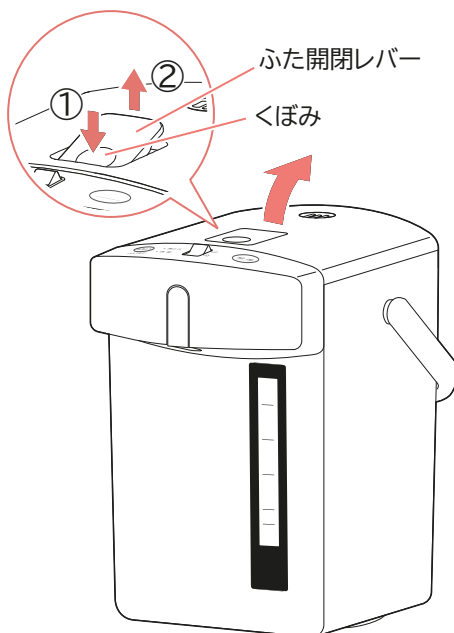
→[お湯を捨てるときは P21](#)

→[ふたの取り外しかた・取り付けかた P22](#)

—お湯を沸かす

ふたを開ける

- ・ ふた開閉レバーのくぼみを押して、レバーの後端が持ち上がったら、レバーを持ってふたを開けてください。

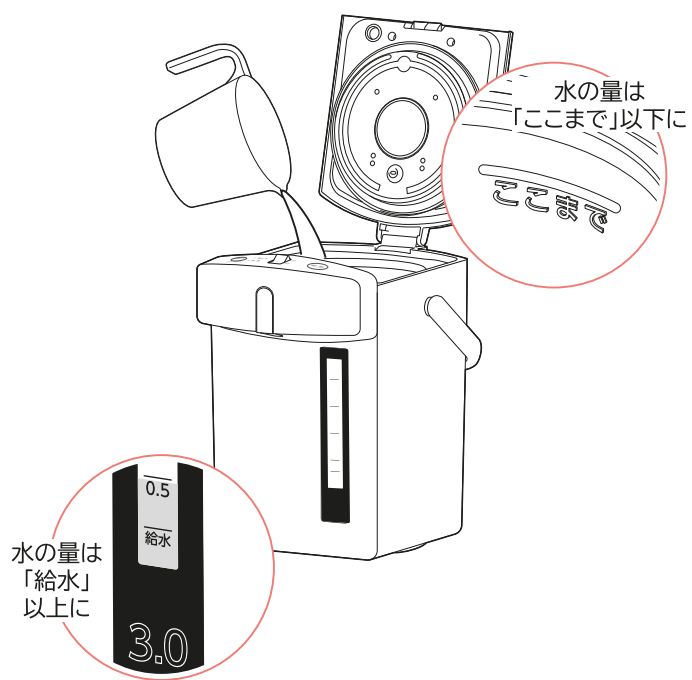


1

給水する

2

- ・ 別の容器を使用して水を入れてください。
- ・ 水の量は、給水目盛以上、満水目盛(ここまで)以下にしてください。

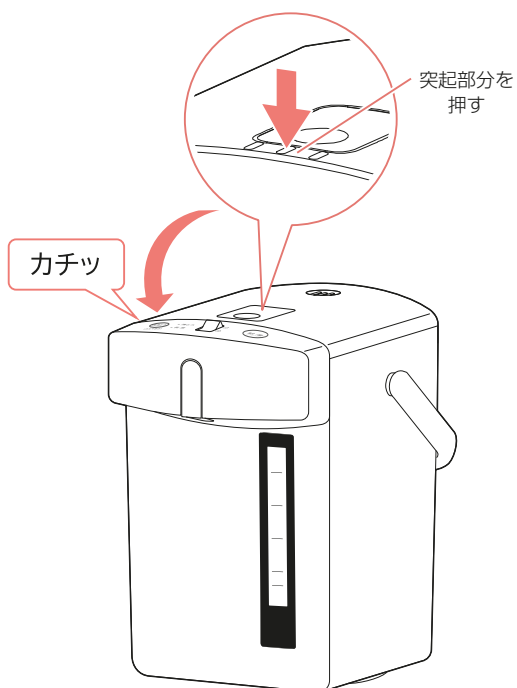


※操作パネルに水をかけないようにしてください。

※メッシュフィルターに直接水がかかると、注ぎ口から水が飛び散るおそれがあるので注意してください。

ふたを閉める

- ふたは突起部分を押し、カチッと音がするまで、ゆっくり、確実に閉めてください。ふたが確実に閉まっていないと、沸とうが止まらなくなったり、万一倒れたときに熱湯があふれ出てやけどするおそれがあります。

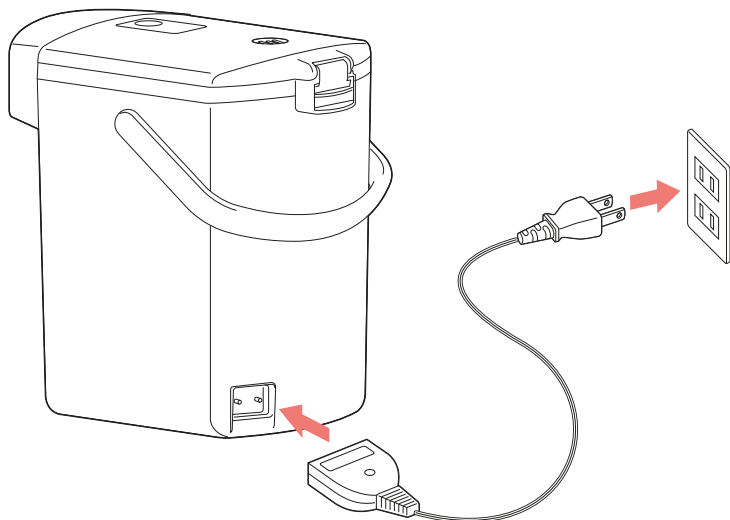


注意

- 電源コードを接続する前にロックスイッチがロックになっていることを確認する

電源コードを接続する

- マグネットプラグをマグネットプラグ差し込み口に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



- 湯沸かしが始まります。

点灯 ● 沸とう

○ 保温

再沸とう

※60℃以上のお湯を入れると、沸とうが始まらないことがあります。その場合は、(カルキ抜き) を押してください。

沸とうすると

沸とうして湯沸かしが終了すると、沸とうランプは消灯し、保温ランプが点灯します。

消灯 ○ 沸とう


点灯 ● 保温

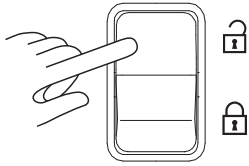
沸とうまでの目安

IMHD-222	IMHD-230
約 15 分	約 20 分


※水量:満水、水温・室温:23℃、電源電圧:100V のとき

—お湯を注ぐ

1 ロックスイッチを  にする




2 容器を注ぎ口に合わせ、 を押して給湯する

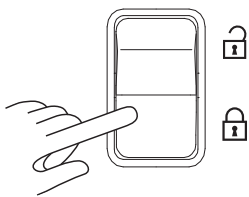
-  を押している間だけお湯が出ます。



※ボタンから指を離しても、給湯が止まるまで、容器を動かさないでください。

※注ぎ口から残り湯がたれることがあります。そのときは、注ぎ口の下にふきんなどを敷いてください。

3 給湯後はロックスイッチを  にする



—お湯が減ってきたら

給水目盛まで減る前に水を注ぎ足してください。

ふたを開け、別の容器を使用して水を入れる



- ・ 沸とうランプが点灯し、湯沸かしが始まります。
- ・ 沸とうして湯沸かしが終了すると、沸とうランプが消灯し、保温ランプが点灯します。

※ 注ぎ足した水の量や、お湯の温度によっては湯沸かしが始まらない場合があります。
湯沸かしを始めるには、再沸とうボタンを押してください。

—お湯の温度が下がってきたら

- ・ 沸とうランプが点灯し、湯沸かしが始まります。保温温度に達すると、沸とうランプは消灯します。



注意

- ・ ふたを開けるときは、蒸気や、ふたの内側、内容器に触れないよう、注意してください。

—お湯を捨てるときは

清潔さを保ち、いつもおいしいお湯を沸かせるように、使用しないときはこまめに残り湯を捨ててください。

- 必ず電源コードを外してください。
- 必ずふたを取り外してください。
- 必ず排水の矢印方向に捨ててください。
けが・やけど・感電、内部へ水が浸入する原因になります。



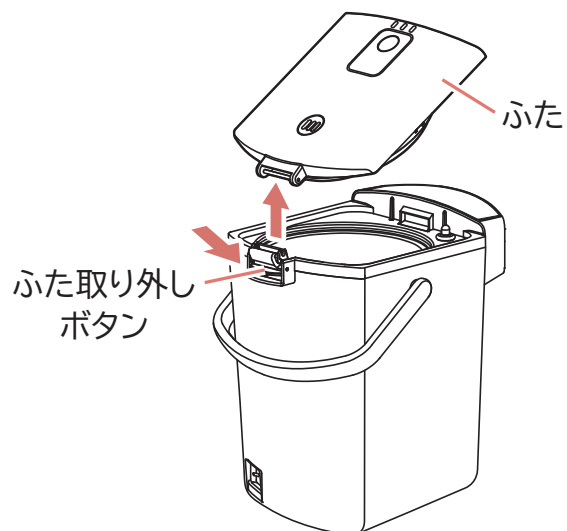
注意



—ふたの取り外しかた・取り付けかた

ふたの取り外しかた

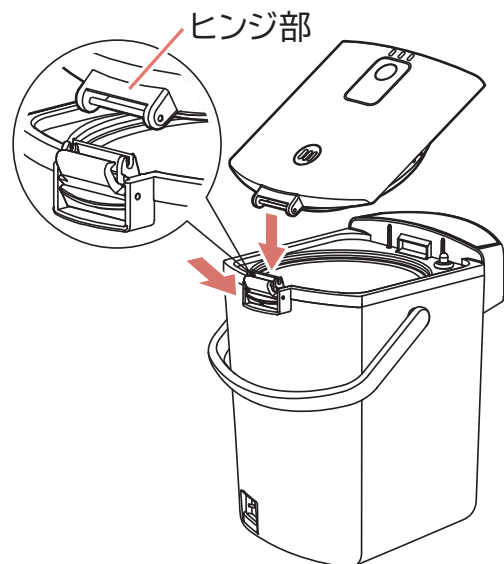
ふた取り外しボタンを下に押しながら、ふたを上を持ち上げて取り外します。



ふたの取り付けかた

ふた取り外しボタンを押しながら、ふたのヒンジ部分を上から差し込みます。

ふた取り外しボタンを離すと、ふたが取り付けます。



再沸とう(カルキ抜き)

再沸とう

(カルキ抜き) を押すと、再度湯沸かしになり、沸騰ランプが点灯します。

点灯 ● 沸とう

○ 保温

沸とうさせてカルキ抜きをした後、保温に戻ります。

再沸とう

また、次のような場合にも、(カルキ抜き) を押してください。

- ・ 給湯する前に再度お湯を沸とうさせたい場合
- ・ 温度が下がったお湯を再度熱くしたい場合
- ・ 水を注ぎ足しても湯沸かしがスタートしない場合

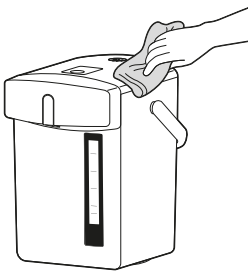
お手入れ

本体・庫内

- ・ お手入れは、必ず電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う
- ・ 水で丸洗いはしない
- ・ 酸性・アルカリ性の強い洗剤・薬品、漂白剤、金属たわし、ナイロンたわし、研磨材入りのスポンジなどは使用しない
- ・ 食器洗い乾燥機に入れない

■ 本体外側・ふた

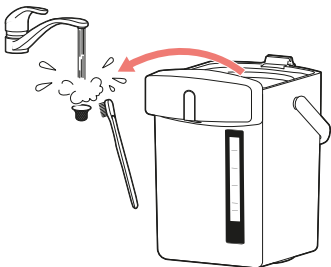
水でぬらしてよく絞った柔らかい布で拭く



※ 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用中性洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤分が残らないように、かたく絞った布などで水拭きしてください。

■ メッシュフィルター

内容器から外し、ブラシなどで洗う



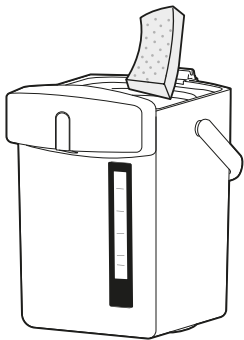
※ こまめに洗ってください。目づまりすると、お湯が出にくくなります。

※ 洗った後は、必ず元どおり取り付けてください。

■ 内容器

柔らかいスポンジなどで洗う

- 水に含まれるミネラル分が付着すると、内容器が変色します。
柔らかいスポンジなどでこまめに洗ってください。



- 洗った後は、水でよくすすいでください。
- 水を捨てるときは、ふたを外し、排水の矢印方向に捨ててください。



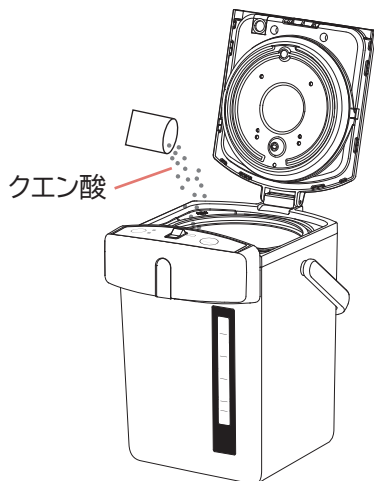
※ 汚れが落ちにくいときは、クエン酸洗浄を行ってください。(→[クエン酸洗浄 P26](#))

クエン酸洗淨

■ クエン酸洗淨

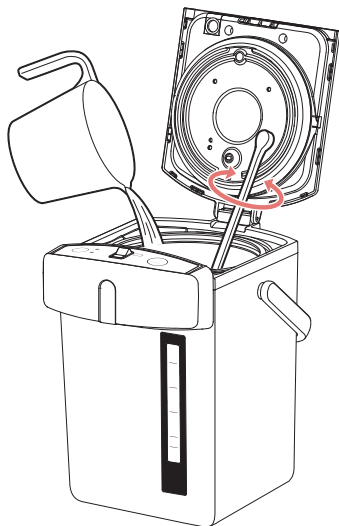
内容器の汚れがスポンジなどでは落とせなくなったときは、クエン酸洗淨を行ってください。

ふたを開け、市販のクエン酸 30 g(大さじ 2 ~ 3 杯)を入れる



※ メッシュフィルターが取り付けられていることを確認してください。

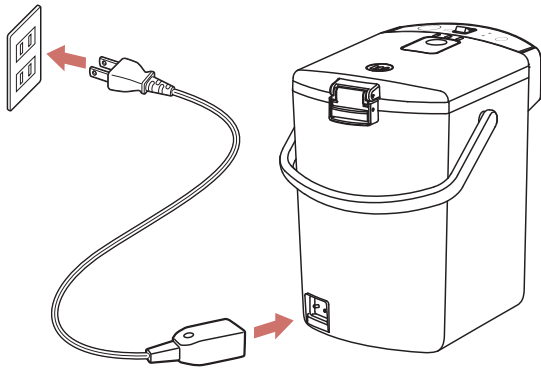
水を満水目盛(ここまで)まで入れ、クエン酸がよく溶けるようにかき混ぜる



- 金属製の棒などでかき混ぜないでください。
内容器が傷付き、塗装が剥がれるおそれがあります。

3 ふたを閉め、電源コードを接続する

- マグネットプラグをマグネットプラグ差し込み口に差し込み、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



注意

- ・ 電源コードを接続する前にロックスイッチがロックになっていることを確認する

- ・ 湯沸かしが始まります。

点灯 ● 沸とう

沸とう後、保温になったら 2～3 時間放置する

4

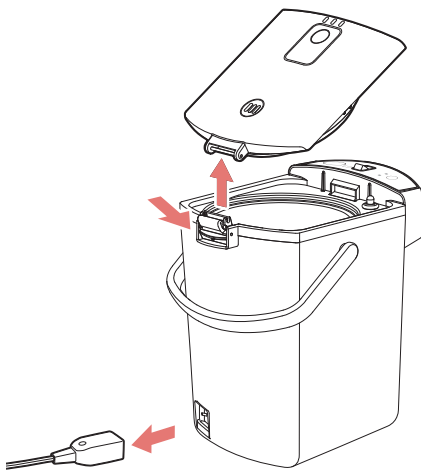
点灯 ● 保温

2～3時間放置

電源コードを抜き、ふたを取り外す

- ・ ふた取り外しボタンを下に押しながら、ふたを上を持ち上げて取り外します。

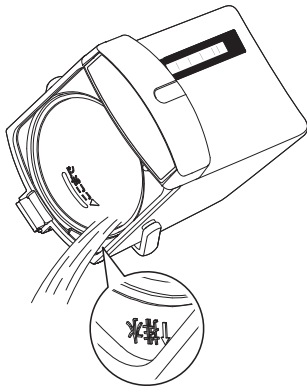
5



6

お湯を捨てる

- ・ 排水の矢印方向に捨ててください。



- 注ぎ口の経路を洗浄する場合には、お湯を捨てるときに、次のようにしてください。
 - ① 電源コードを接続して、給湯ボタンで半分程度お湯を出して捨てる。
 - ② 再度電源コードを抜き、ふたを取り外して、残りのお湯を排水の矢印方向に捨てる。

7 再度ふたを取り付け、満水目盛(ここまで)まで水を入れる

8 電源コードを接続して、お湯が沸とうするまで沸かす

9 電源コードを抜き、お湯を捨てる

- お湯での洗浄は、クエン酸のにおいを取るために行います。
1回でにおいが取り切れないときは、湯沸かしを繰り返してください。

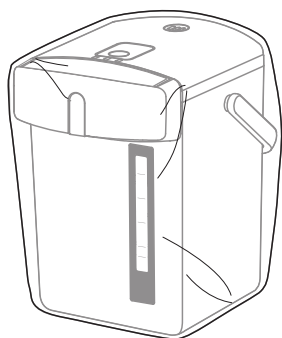
保管のしかた

■ 保管のしかた

1 お湯を捨て、お手入れをして、内部をよく乾かす

梱包箱に入れるか、ポリ袋などをかぶせて、湿気の少ない場所で保管する

2



お困りのときは

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、以下の項目を確認してください。

－電源が入らない(ランプが点灯しない)

→電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

→マグネットプラグが外れていませんか？

本体背面の差し込み口にマグネットプラグを接続してください。

－注ぎ口からお湯があふれる

→満水目盛(ここまで)以上に水を入れていませんか？

水を満水目盛(ここまで)以下に減らしてください。(→[基本手順 P16](#))

－注ぎ口からお湯が出ない

→沸とう直後はお湯が出にくいことがあります。

故障ではありません。沸とうが止まって落ち着くと、通常通りお湯が出ます。

→注ぎ口の経路やメッシュフィルターが水あかなどでつまっていませんか？

クエン酸洗浄を行い、お湯を捨てるときに、半量を給湯ボタンを使用して注ぎ口から、残りの半量を、ふたを開けて排水の矢印方向に捨ててください。(→[お手入れ P24](#))

→ロックスイッチがロックになっていませんか？

ロックスイッチを解除してください。(→基本手順 [お湯を注ぐ P19](#))

－お湯がぬるい

→しばらく給湯していませんでしたか？

注ぎ口の経路に残ったお湯が冷めてしまうことがあります。

しばらくしてから給湯するときは、1杯目は捨てるなどしてください。

－湯沸かししない

→お湯が少ないため、空だきを検知した。

電源コードを抜き、給水して適切な水量にしてから、再度電源コードを接続してください。

(水は給水目盛以上入れてください。)(→[基本手順 P16](#))

－給水しても湯沸かししない(沸とうランプが点灯しない)

→給水しても保温温度の範囲より湯温が下がらなかった場合は、自動で再沸とうしません。



(カルキ抜き) を押して湯沸かししてください。

(→[再沸とう\(カルキ抜き\) P23](#))

－お湯の中に白い浮遊物がある

→水のミネラル分が固まって付着したものがはがれて浮遊しています。

内容器にミネラル分が付着しています。

クエン酸洗浄を行ってください。(→[お手入れ クエン酸洗浄 P26](#))

－内容器に白いざらざらしたものが付く

→水のミネラル分が固まって付着しています。

スポンジで洗ってください。

汚れが落ちにくいときは、クエン酸洗浄してください。(→[お手入れ クエン酸洗浄 P26](#))

－内容器に赤い斑点が付く

→水の鉄分が固まって付着した。

スポンジで洗ってください。

汚れが落ちにくいときは、クエン酸洗浄してください。(→[お手入れ クエン酸洗浄 P26](#))

－お湯がにおう

→長期間使っていませんか？

古いお湯などが残っている場合があります。

一度湯沸かしして、お湯を捨ててください。(→[お手入れ 本体・庫内 P24](#))

→初めて使用しましたか？

まれにプラスチックのにおいがすることがあります。

何度か使用するうちになくなります。

→水道水に含まれる塩素の量により、カルキが残る場合があります。

浄水器の水などを使用してください。

再沸とう(カルキ抜き)してください。

－ふたが外せない

→ふた取り外しボタンを押していますか？

後ろのふた取り外しボタンを下に押しながら、ふたを上へ引いて取り外してください。

(→[お手入れ ふたの外しかた P24](#))

－湯沸かし音が大きい

→内容器に水のミネラル分が付着していると、音が大きくなります。

クエン酸洗浄してください。(→[お手入れ クエン酸洗浄 P26](#))

それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、または[アイリスコール P36](#)( [電話をかける](#))へお問い合わせください。



警告

・ ご自分で分解・修理・改造はしないでください。

関連ページ

・ [お問い合わせ P36](#)

その他の情報

別売品

消耗品については、お買い上げの販売店または[アイリスコール P36](#) (☎ [電話をかける](#))にご相談ください。

損傷したり、汚れが取れなくなったときは、新しい部品へ交換してください。

- ・ ふた
- ・ メッシュフィルター
- ・ 電源コード

廃棄について

製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

仕様

品番		IMHD-222	IMHD-230
電源		AC100V、50/60Hz	
定格消費電力		685W	
消費電力量※1	1日あたり	1.13kWh /日	1.31kWh /日
	年間	412kWh /年	478kWh /年
定格容量		2.2L	3.0L
製品寸法 (ハンドルを倒した状態)		幅 218×奥行 280 ×高さ 256mm	幅 218×奥行 280 ×高さ 296mm
質量(電源コード含む)		約 2.1kg	約 2.3kg
電源コード(付属品)		長さ約 1.2m	
電動ポンプ消費電力/定格時間		3.0W/1分	

※1 室温 23℃、湯沸かし 2 回 / 1 日、再沸とう 1 回 / 1 日、保温 23 時間 / 1 日、365 日 / 年、その他水量などの試験条件:(一社)日本電機工業会自主基準 HD-112 による測定

※特定地域(高地・厳寒地など)では所定の性能が確保できない場合があります。

※電動ポンプの定格時間を超えて連続運転すると、モーターなどの故障の原因になるため、定格時間を超えて連続使用しないでください。

※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

－保証書


お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

－保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

－保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または[修理専用コール P36](#) ( [電話をかける](#))にご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

－補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

－アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店または[アイリスコール P36](#) ( [電話をかける](#))にお問い合わせください。

お問い合わせ

お問い合わせについてはこちら

●お問い合わせの際は、製品の型番をお調べいただき、取扱説明書・購入履歴の分かるもの・メモのご用意をお願いします。

製品に関するお問い合わせ

アイリスコール:[0120-311-564](tel:0120-311-564)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

修理に関するお問い合わせ

修理専用コール:[0800-170-7070](tel:0800-170-7070)(通話料無料)

9:00～17:00(年末年始・会社都合による休日を除く)

お客様サポートはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

専用パーツはこちら



<https://www.irisohyama.co.jp/support/parts/>

製品の最新情報はこちら

<https://www.irisohyama.co.jp/>